

紅葉の候、貴職におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より横浜市小学校算数教育研究会の活動にご理解、ご支援いただき、深く感謝申し上げます。

さて、標記の研究会を次の通り開催いたします。つきましては、校務ご多用の折とは存じますが、貴校、算数部員の先生の出張につきまして、格別のご配慮をお願い申し上げます。

## 横浜市小学校算数教育研究会

# 11月研究会 のお知らせ

70<sup>th</sup>  
Anniversary

10月30日(水) 15:30~

▶▶会場

横浜市立 二谷小学校

令和元年度研究テーマ

数学的に考える資質・能力を育成する算数科学習  
～数学的な見方・考え方が成長する数学的活動の組織～

### 会員研究会

#### □一斉授業研 指導案検討

⇒ 12月4日(水)に行われる一斉授業研究会の指導案検討を行います。

当日の授業を見る視点や、育成したい子どもの姿などがより具体的になり、一斉授業研での学びを深めることができます!!ぜひ、指導案検討からご参加ください!!

#### 市算研のHPをチェック!

市算研のHPには、事前に提案資料がアップされます。市研の前に、ぜひご確認を!!他にも過去の資料をご覧いただけます!



◆1学年部会 数の相対的な見方を豊かに！

## 「おおきなかず」

授業者 島田 翔平 先生(希望ヶ丘小)  
 講師 南部 礼子 校長先生(東戸塚小)  
 今村 公子 校長先生(南小)  
 ファシリテーター 高橋 莉菜 先生(本郷台小)

### 授業の主張

数を10のまとまりの幾つ分かで捉えたり表したりするとともに、同じ数のまとまりや等分した数としてみたりして、数の相対的な見方を豊かにする。また、数え方や比べ方を考え、乗法や除法の素地となる学びを行う。

◆2学年部会 具体的操作を通して  
分数の見方を広げる！

## 「分数」

授業者 中田 麻由里 先生(東戸塚小)  
 講師 松本 理孝 校長先生(鶴ヶ峯小)  
 浜名 伸明 校長先生(下和泉小)  
 ファシリテーター 福田 善行 先生(緑園西小)

### 授業の主張

児童にとって分数が「分けた大きさを表す」ことだけでとどまらず、その意味や根拠を具体的操作を、用いて説明したり多面的な見方・考え方で分数を捉えたりできるようにする。

◆3学年部会 メートル法の仕組みへの気づきと  
重さの測定とをドッキング！！

## 「重さの単位とはかり方」

授業者 大場 芽以 先生(立野小)  
 講師 徳江 武司 校長先生(荇子田小)  
 樋渡 典子 校長先生(新橋小)  
 ファシリテーター 西野 恵 先生(舞岡小)

### 授業の主張

新しい単位と既習の単位を比較する活動を通してメートル法の仕組みに気づき、測定を通してメートル法の仕組みの良さを実感し、新たな量を測定する時にも、メートル法の仕組みから類推して生かそうとする力を育てる。

◆4学年部会 割合との出会い  
～子どもが割合のよさを実感するには～

## 「簡単な場合の割合」

授業者 篠永 慎也 先生(太田小)  
 講師 菅原 久忠 校長先生(平戸小)  
 ファシリテーター 帆足 雄斗 先生(上末吉小)

### 授業の主張

ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知り、図や式などを用いて、二つの数量どうしの比べ方を考察する力を伸ばしていく。また、「よさ」も実感できるようにする。

◆5学年部会 5年でまわすPPDAC サイクルとは

## 「百分率とグラフ」

授業者 浦山 勇樹 先生(戸塚小)  
 講師 神田 敏之 校長先生(朝比奈小)  
 ファシリテーター 黒澤 震哉 先生(飯島小)

### 授業の主張

子どもが自ら問題発見をし、解決の見通しをもってデータを収集したり、分析したりして、「割合」の学習を生かした統計的な問題解決を行う。単元全体を見通し、PPDAC サイクルを具体化した学びを行う。

◆6学年部会 期限までに仕事を終わらせるには…  
比を使って日常の問題を解決しよう

## 「比と比の値」

授業者 岡田 秀亮 先生(奈良小)  
 講師 志田 一彦 校長先生(山王台小)  
 ファシリテーター 梅本 樹徳 先生(嶮山小)

### 授業の主張

「人数・時間・量」の3つの数量を視点に仕事にかかる時間を見極め、期限までに仕事を終わらせる計画を立てる。表やグラフを用いて解決する中で、比で関係を捉えられることや、比を用いた方がわかりやすい場面があることに気づき、解決の手段を自ら選択できる資質を育てる。

◆6学年部会 補集合に着目するよさに迫る！

## 「起こり得る場合」

授業者 西垣 伸洋 先生(南吉田小)  
 講師 大島 宏二 校長先生(子安小)  
 ファシリテーター 佐藤 香寿江 先生(さわの里小)

### 授業の主張

補集合に着目し、その仕組みを考察することで、発展的に事象をみるができるようにする。子どもの「問い」で学びをつなぎながら、数学的に思考できるような単元デザインを目指す。

## 研究部より

「これからの授業像の実現に向けて」

これまで資質・能力の育成に向けて子供を主語にした授業のゴールと問いを位置付け、主体的・対話的で深い学びを営む為の学びの文脈を開発してきました。令和元年の授業研究会がスタートします。これからの横浜市の研究を、チーム市算研で創っていきましょう。たくさんの参加をお待ちしています！

